

2025年度年間教育計画予定表

項目		重要項目	ポイント
時期			
上期 (4/5/9)	1 / 4 半期 (4/5/6)	① バスを運転する場合の心構え ② 運行の安全、乗客の安全確保確保	公共交通機関としてのバス事業の社会性、バス事故の社会的影響、安全運行の心構え。 (思いやり、譲り合いの気持ち、他の運転者の模範となる安全でマナーの良い運転) 日常点検整備の徹底、酒気帯び運転の防止。 点呼時の指示事項、注意事項の確認。
		③ バス構造上の特性 ④ 乗車中の乗客の安全確保	車両死角についての意識向上。道路標識の見落とし防止。 後退時については可能な限り誘導依頼。 車内事故防止のためのアナウンス。 シートベルト着用徹底。カーブでのハンドル操作。
		・春の交通安全運動 ・シートベルト強化月間 ・個別確認事項・個別指導	新入学期児童の安全 シートベルト着用のアナウンス。 各適正診断の受講確認と指導、健康診断と結果確認による指導
	2 / 4 半期 (7/5/9)	⑤ 乗降時の安全確保 ⑥ 運行路線・経路の道路及び交通状況	お客様が完全に乗車したことを確認しドアを閉める。 バスを降車するお客様の自転車、バイクとの接触防止。(注意喚起アナウンス) お客様が完全に降車したことを確認しドアを閉める。 慣れた道路走行時の油断、時間帯の道路状況の把握、指示書に従った運行。
		⑦ 危険の予測及び回避と緊急時対応	高齢者の特性を知り行動を予測する。(特に道路端) 悪天候の山道走行においては、「急」のつく運転は厳禁。 他車の危険な行動を予測し車内事故防止。 (かもしれない運転)
		・夏/秋の交通安全運動 ・個別確認事項・個別指導	交通安全運動の重要事項の確認。 各適正診断の受講確認と指導、健康診断と結果確認による指導
下期 (10/5/3)	3 / 4 半期 (10/5/12)	⑧ 運転者の運転適性に 応じた安全運転 ⑩ 健康管理の重要性	他車の行動に「カッ」とせず、一息つき心の余裕を持つ。 自分の運転の欠点を意識し安全運転。(適性診断を活用) 「動作優先」の運転になっていないか意識。(行動を起こす前の確認) 体調不良時の速やかな報告、健康診断の再確認、食生活の見直し。
		⑨ 運転者の生理的 心理的要因	休憩時間が長くても運行中はアルコールを絶対飲まない。 遅れを気にして「急ぎの心理」陥る危険を自覚する。 睡眠不足や疲労が残ったまま運転しない。
		・冬の交通安全運動 ・個別確認事項・個別指導 ・年末年始輸送安全総点検	交通安全運動の重要事項の確認。 各適正診断の受講確認と指導、健康診断と結果確認による指導。 安全総点検。
	4 / 4 半期 (1/5/3)	⑪ 安全装置を備える 自動車の運転方法	運転支援装置の機能を理解して安全運転に活かす。 完全な自動ブレーキと勘違いしないでブレーキ操作は確実にする。 クルーズコントロールに安心してわき見などしない。 (装置の正しい理解と知識。過信の禁止)
		⑫ ドライブレコーダーを 利用した安全運転 ⑬ ドライブレコーダーの 記録の共有・活用	ドライブレコーダー映像の個別活用。 車内、車外事故があった場合は映像確認、ドライバーの健康状態、心理状態の確認をし、 共有をする。
		・個別確認事項・個別指導 ・年末年始輸送安全総点検 ・目標達成確認	各適正診断の受講確認と指導、健康診断と結果確認による指導。 安全総点検。 本年度の目標達成度の確認。